久留米大学病院 広報誌

ちっご川

2023.3
第42号

TAKE FREE
ご自由に
お取りください

特集 **手術に関すること**
- 8のQ&A
- 手術の流れ

⑦ プロフェな人
理学療法士の一日

Special Feature

特集

手術に関すること

久留米大学病院では1日30例以上の手術を行っています。医療スタッフは、それぞれの立場で患者さんの病と不安に向き合い対応しています。

8のQ&A

手術にあたる医療スタッフの想いや、手術に関する疑問について、中央手術部部長、集中治療部部長、麻酔科診療部長、中央手術部看護師長の4人に話を聞きました。

Q01 手術を担当する医師が患者さんにお会いするのは手術室に入ってから？

井川　泌尿器科では、多くの場合、手術を受けられることが決まってから外科系の外来に来られるので、そこで初めてお会いするかたちとなります。

光岡　呼吸器外科でも、患者さんに初めてお会いするのは外来になります。内科で診断を受けて手術の適応があると考えられた患者さんが外科外来に来られます。中には手術を受けるかどうか迷われている患者さんもいらっしゃいますので、その場で結論を出さず、次の外来までよく考えてもらう時間を設けるようにしています。

平木　麻酔科の担当医が患者さんにお会いするのは、基本的には手術前日です。合併症などの心配がある患者さんの場合は、合併症リスクを下げるためにあらかじめ治せる病気を治しておく必要があります。そういった方には、外来で何度かお会いすることもあります。

松本　一つの手術に3人の看護師が担当として入りますが、術前訪問をする看護師は前日に患者さんにお会いします。

Q02 不安と緊張を抱える患者さんとの初対面で心がけていることは？

光岡　患者さんが外来の診察室に入られたら、立ち上がって自己紹介をします。ご年齢に関わらず、敬語で話をするよう心がけていま

す。患者さんの病歴は外科に来る前の診療科で伺ってはいますが、患者さんの言葉で私自身が直接病歴を聞いてカルテに記入していきます。家族構成や同居家族についてなどもお話を聞き、対話をするようにしています。

井川 第一印象は非常に大切なので、自己紹介は必ずさせていただきます。泌尿器科で多い手術の一つに前立腺がんの摘除術がありますが、この病気は手術以外にもいろいろな治療法があります。初回の診察では、手術以外の治療法についてもすべて説明するようにしています。中には他の治療法に関して初めて聞いたという方もおられるので、その場ですぐに治療法は決めずに、次の外来受診までに考えていただきます。あまり細かく説明するとかえってわかりにくい場合もありますし、できるだけ簡潔に説明した方が分かりやすいという方もいますので、患者さんに合わせてどういう説明をするかは気をつけています。

松本 術前訪問で患者さんとお会いする時は、目線を患者さんに合わせて先生方と同じように自己紹介をします。患者さんの表情をしっかりと見て、不安の強そうな方には不安要素について尋ねています。「医師の説明で分からないことや気になったこと、もっと詳しく聞きたいことはないですか」と看護師から尋ねると、ようやく質問される方もいらっしゃいます。「先生には聞きづらい」と言われる方もいらっしゃるので、寄り添ってお話を伺うよう心がけています。

Q03 手術の説明をする際に気を付けていることは？

光岡 1回目の診察では、改めて病名をお知らせして、画像所見や手術の概要についてお伝えします。2回目の診察では1時間くらいかけて治療方針の決め方や手術方法、合併症などについて図

を示しながら、患者さんが納得できるまで説明するよう努めています。今はインターネットから沢山の情報が入るが故に、かえって迷ったり誤って理解する場合もあると思います。それらを鵜呑みにせず個別の状況で判断することが大切だとお話ししています。

平木　手術中に起こり得ることをすべてお話ししなければなりません。手術は安全に行われるものですが、想定される最悪の事態についても説明義務があるのでお伝えします。説明を聞いて暗い気持ちになる患者さんもおられますので、相手に声が届いていないなと思ったら、一呼吸おいてから患者さんに発言を促すために問いかけます。そうすることで、患者さんも少し落ち着かれて、対話が続けられるようになります。

松本　術前訪問で、手術室に入られてからの流れを一つ一つ説明します。患者さんの表情を見ながらお話しするように心がけています。中にはあまり聞きたくないという方もおられるので、そういう方には詳細は説明せずに、何かする時には必ずお声をかけますということと、周りには必ず私たちがついているのでいつでも声をかけてくださいということをお伝えします。またスタッフ間で情報の共有をしています。

Q04 手術を受けたくないという患者さんにはどのように対応されますか？

井川　掌
中央手術部部長
泌尿器科診療部長

井川　まず手術で改善する医学的根拠を説明し、なぜ希望されないのかをお話をしながら明らかにしていきます。一概には言えませんが、例えば前立腺がんにおいては手術を希望されない方が比較的高齢でがんの進行リスクもそこまで高くない場合などは、積極的治療である手術をせずに監視療法という検査などで経過を見て対応する方法を取ることもあります。

光岡　手術によって完治や改善が望める場合には、医学的根拠や患者さんに必要と思われる情報をお伝えして手術をお勧めしますが、最終的には患者さんの意思を尊重します。こちらが手術適応があると考えても、必ずしもそれが患者さんにとって正しいとは限りません。患者さんの思いや背景なども含めて、本人が決断することが肝要です。

患者さんの中には、手術を受けないと決断される方もいます。手術で根治が得られそうな患者さんには手術を勧めますが、やはり強制はできない。こちらから手術に関して与えられる情報と併せて、手術をしなければどういう選択肢があるかをお伝えします。その上でご家族とも話し合って決めていただきます。

光岡 正浩
集中治療部部長
呼吸器外科診療部長

Q05 モニターを見ながらの手術は手元を見ながらより難しくないですか？

光岡　かつては開胸手術の方が胸腔鏡下手術よりやりやすかったのですが、今は慣れたこともあり胸腔鏡下手術の方がやりやすいと感じることが多いです。患部を拡大視できること、術者も助手も看護師も同じモニターを見ながら手術を進められることなど、モニター視野のメリットもあります。もちろん拡大手術や癒着・出血などの理由で開胸手術が必要な場合もあります。

Q06 手術支援ロボットの普及が進んでいますが、遠隔地の医者が手術をすることが一般的になる？

井川 泌尿器科領域では支援ロボットが導入されてかなり時間が経ちます。患者さんにとってもより侵襲が少なく、術者は座った状態で手術ができるので、疲労度も減ってきます。市中の病院でも徐々に増えており、将来的には支援ロボットでの手術が主体になると思います。実は、患者さんはフランスにいて術者はアメリカにいるというような遠隔手術は、かなり前に成功していますが、まだ現実的ではありません。データ通信上の問題もありますので。しかし、すぐにではなくてもそう遠くない未来に、地域を超える遠隔手術というのも普通に実現できると思っています。

Q07 人の命に関わる仕事ですが、先生自身のメンタルケアはどうしてる？

光岡 オンオフをしっかりすることですね。仕事のオンとオフをなるべくハッキリさせるようにして、家に帰っている時間は仕事を忘れてゆっくり体を休め、仕事にきたら全力を尽くします。絶えず考えていたら精神的にもちません。

平木 家に帰って一晩寝てリセットし、朝になったら新たな気持ちで頑張る。特別なことはしていないと思います。

松本 私も特に何かをすることはないですね。毎日リセットして

平木 照之
麻酔科診療部長

また明日頑張ろうと気持ちを切り替えています。私服から制服に着替えるとスイッチが入るというのはありますね。

松本 好美
中央手術部看護師長

Q08 初めての手術を覚えている？

光岡 医師免許を取って間もない頃で、当時は余裕もなくて詳細は覚えていません。それよりも初めて執刀した手術や、難しかった手術の方が記憶に残っているのかもしれません。

松本 覚えています。今でも、看護師の指導に当たる際に初手術の時の様子などを話すこともあります。

手術の流れ

久留米大学病院における一般的な手術の流れをご紹介します。
安心して手術を受けていただくために、多くの職種が協力・連携しながら、
それぞれの手術に関わっています。

入院前

外来診察

医師による外来診察の結果、手術が必要となれば、患者さんやご家族に対し、その詳細をご説明いたします。

入院前のご支援

安心して入院生活を送れるよう、入院前の段階から、看護師、薬剤師、管理栄養士、医事課職員、医療ソーシャルワーカーなど多くの専門職がサポートさせていただきます。患者さんの情報やさまざまなリスク因子を確認させていただくとともに、入院生活での不安やご質問などにも対応させていただきます。

術前検査

基本的な血液検査に加え、心電図、胸部X線等の検査を行います。安全に手術を行うためにも、全身状態の把握はとても重要です。

口腔ケア

(必要な患者さんのみ)口の中にはたくさんの細菌がいます。それを飲み込むことで、誤嚥性肺炎などになる可能性があるため、ブラッシングの指導や実施を行います。

栄養評価

栄養評価を行い、手術前から栄養管理を行います。また、食物アレルギーの確認を行います。

術前

麻酔科医の術前診察

手術時の麻酔実施に関し、麻酔科が診察を行います。患者さんの全身状態や合併症、手術方法や手術時間等を確認しながら、具体的な麻酔方法等を詳しくご説明いたします。

手術室看護師の術前訪問

手術室の担当看護師が、アレルギー情報や身体の可動域など、手術の際に必要な情報を確認します。また、手術室にご入室されてからの流れをご説明いたします。疑問に思われることなどについても、ご説明の中でお伺いします。

手術

手術室へ

手術当日は、病棟の看護師と一緒に手術室へ入室いただき、手術室看護師と情報共有を行った上で、手術台へ移動していただきます。その後、心電図、血圧計、パルスオキシメーターなど、患者さんの全身管理に必要なモニターを装着し、点滴を行います。

手術実施

術後

全身管理

手術が終わると、体の状態が安定するまで全身管理を行っていきます。点滴や心電図モニター、安静など制限がありますが、できるだけ苦痛のないようにケアを行っていきます。

疼痛管理

手術後の痛みができるだけないように対応をしていきます。手術後の痛みは我慢しないで下さい。痛みを我慢するとさまざまな合併症が起こります。つらいときは、遠慮なく看護師へ伝えて下さい。

栄養管理

術後の回復状況を見ながら、評価を行い適正な栄養療法を選択します。退院後の食事に関しての栄養指導を行います。

リハビリテーション

座ったり、歩いたりといったリハビリを状態に応じて行います。肺炎などの合併症や、筋力・体力の低下を予防し、早期の退院を目指します。

退院・通院

退院・通院支援

退院についての不安や心配な点がありましたら、主治医と連携しながら、医療ソーシャルワーカー(MSW)や退院支援看護師が対応させていただきます。退院後も安心して生活ができるよう退院指導や退院調整などを行っていきます。

※病気や症状によって内容や順番は異なります。

久留米大学病院のプロをご紹介！

プロフェな人
The Professionals

『理学療法士』の一日

私たち理学療法士は〝身体づくり〟と〝動作〟の専門家です。関節の運動や筋力トレーニング、歩行練習などを行い、寝返る・起き上がる・立ち上がる・歩くなどの日常生活で基本となる動作の改善を目指します。

8:30～ 朝礼・スタッフ会議

医 師や看護師、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士などの専門職と患者さんのことを話し合う会議（カンファランス）を行います。多職種で一緒に考えを深め、より患者さんとご家族に寄り添えるチーム医療に近づけていきたいです。

9:00～ 患者さんとのリハビリ

大 学病院は急性期のリハビリを行っており、整形・脳血管・がんや心臓・呼吸器など様々な分野に分かれています。それぞれの分野に専門の理学療法士がおり、医師の指示のもと患者さんの評価（検査）を行い、問題点を抽出し、運動内容を決めています。リハビリをしている患者さんが早く日常に戻れるように運動を進めていきます。私は入院中の患者さんが少しでも前向きになり、次の目標に向かって一歩を踏み出せるよう関わっていけることがこの仕事のやりがいだと感じています。

14:00～ 多職種カンファランス

理 学療法士は、握力・足の筋力・バランスの検査・10m歩く速さ・動作方法・歩くときの姿勢などさまざまな検査をしてその結果をもとに運動内容を決めています。リハビリ以外の時間や退院後にも運動が継続できるよう患者さんに運動指導を行います。

16:00～ 運動指導

プロフィール　リハビリテーション部 理学療法士　**家守 由貴** さん

院内緑化推進プロジェクトについて

当院では、「人と地球にやさしい、生命を慈しむ医療」という理念の下、質の高い医療を提供するだけではなく、地球環境にも配慮し共生の心を持った医療の実践に努めてきました。

その取り組みの1つに「院内緑化推進プロジェクト」として実施した「エコロジーガーデン」設置（平成21年4月～現在）があります。

「エコロジーガーデン」は、室内の空気をきれいにする観葉植物（エコプラント）と特殊土壌（エコド）を合わせて使用することで、CO_2（二酸化炭素）やVOC（揮発性有機化合物）の吸収に優れ、臭気の除去能力が高く、優れた空気浄化能力を発揮してくれるものです。また、ヒートアイランド現象の緩和にもつながるものであり、さらには、患者さんの心理的なケアにも効果があると言われています。

この設置により、患者さんをはじめ、来院者の方々には、「安らぎ」、「憩い」、「潤い」のある空間が提供され、まさに“人と地球にやさしい”環境が醸成されるものと期待しているところです。このプロジェクトは地域の企業の皆様が「グリーンオフィシャルスポンサー」となりご協力していただくことで成り立っています。今後とも皆様の真心のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

協賛企業様（順不同、敬称略）

- 西鉄旅行株式会社
- 九州ビルサービス株式会社
- 久留米西鉄タクシー株式会社
- 株式会社ケーユー
- 一般財団法人久留米大学愛恵会
- 日本生命保険相互会社
- コニカミノルタジャパン株式会社
- 住友生命保険相互会社
- 舞鶴警備保障株式会社
- キングラン九州株式会社
- 株式会社中野青果
- ダイダン株式会社
- 株式会社マルビシ
- 株式会社ファミリーマート
- さくら薬局 久留米大学病院前店

消化器病センター待合室にもご協賛いただいた企業名を記載したサインボードを設置しております。当院ではご協力いただける企業様を引き続き募集しております。お問い合わせの際は、㈱久大エンタープライズまでお願いいたします。

【お問い合わせ先】㈱久大エンタープライズ　☎0942-48-0553

TOPICS

マナーアップキャラクター「マナラビちゃん」をよろしくお願いします！

当院職員の接遇向上等に向けた取り組みの一環として、マナーアップキャラクター「マナラビちゃん」が新たに誕生しました。「マナラビちゃん」は、院内公募により、看護師の宮原聖也さんがイメージしたキャラクターで、「Manner」のM、「Up」のUが表情に込められ、抱えているハートは優しさを表現しています。優しさを配り歩く「マナラビちゃん」とともに、過ごしやすい大学病院となるよう接遇向上に取り組んでまいります。

TOPICS

授乳室とおむつ交換室をリニューアル

患者さんからご要望をいただいていた授乳室とおむつ交換室のリニューアルを行いました。授乳スペースの個室化、お部屋全体の壁紙の張替えなどを行い、明るく使いやすいスペースとなりました。授乳室とおむつ交換室は、総合診療棟1階小児科外来前に設置しています。

読者アンケート募集！

「ちっご川」では、読者の方からのご意見・ご感想を募集しています。
ご意見・ご感想は、QRコードを読み取りいただき、アンケートフォームより送信してください。皆さまの“知りたい!”にお応えできるよう精進いたします。

https://forms.gle/PG62ieWGgQpeqBra9

癒し♥職員のウチの子自慢

今号は、管理課職員のウチの子自慢です！

【K家】**にゃーこ**さん（13才）

毎日毎日
楽しませて
くれてありがとね

【S家】**にゃんたろう**さん（10才）右
タルトさん（9才）左

縁あって里親になりました。
似てるっていわれるけど
性格も好みも違う2匹です。

趣味は散歩と
日向ぼっこです

【T家】**ぽち**さん（5才）

祝日等開院のお知らせ　下記の祝日等は通常診療します。

令和5年11月23日（木・勤労感謝の日）、 12月29日（金）、 令和6年2月12日（月・建国記念の日の振替休日）、 3月20日（水・春分の日）